

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第709号 平成26年3月25日

絶食5年

先月（2月）の事になりますが、5年間も絶食していた深海生物「ダイオウグソクムシ」が死んだというニュースには、驚かされました。

地球上には色んな生き物がいますが、5年間も絶食していてなお生きていられるというのは不思議です。何故なら、生物は、静かに息をしているだけでもエネルギーを消費しますので、幾ら省エネタイプとはいえ5年間も飲まず食わずというのは



鳥羽水族館のホームページから転載しました。

しぶといなと感心します。

この「ダイオウグソクムシ」は、三重県鳥羽市にある鳥羽水族館で飼育されていました。

姿かたちは、結構不気味ですね。水族館によると、14日の朝には飼育員が生きているのを確認していたそうですが、同日午後5時ごろ、1カ月半ぶりに餌をやった際には反応せず、動かなかったため

死んでいるのに気付いたとの事です。

体に目立った傷等は無く、死因は不明との事ですが、チョット見では生き死にも分からない位にじっとしていたという事なのでしょう。

「ダイオウグソクムシ」はダンゴムシやフナムシの仲間で、メキシコ湾やカリブ海の海底約200～1000メートルの深海に生息し、海底に沈んだ動物や魚の死骸を食べる事から「深海の掃除屋」と呼ばれているそうです。

死んだ「ダイオウグソクムシ」はメキシコ湾で捕獲されたもので、2007年9月に鳥羽水族館に来たものです。体長は約29センチ、体重は約1キロといえますから結構大型です。

この「ダイオウグソクムシ」が最後に食事をしたのは2009年1月で、その後は餌を食べようとはせず、絶食状態は5年と43日に及びました。

「ダイオウグソクムシ」には空腹という感覚は無いのかも知れませんが、飢餓状態にはあった筈です。5年間何も食べずに生きていられるというのはエコの極致とはいえませんが、しかし、動物には生きようとする本能が有る筈で、それにもかかわらず

人間が差し出す餌には見向きもしなかったというのは、凄まじい忍耐力(?)です。もっとも死んでしまっただけは何にもなりません。

ところで、この謎だらけの「ダイオウグソクムシ」ですが、餌も食べずに長生きできる事や、いささかグロテスクといった点が「ブサカワイイ」らしく、「ダイオウグソクムシ」を模したケータイカバーが結構人気があるらしいので



ヤフーショッピングの画像から

す。これには、天国の「ダイオウグソクムシ」もきっと苦笑している事でしょう。

(塾頭：吉田 洋一)